

【アンケート調査ご協力をお願い】

AYA 世代(思春期・若年成人)がん患者のがん・生殖医療 に対する経済的負担に関する実態調査

【調査の目的】

がん治療の影響で生殖機能(妊孕性)が低下したり喪失することがあります。

現在は、がん治療の開始前に生殖補助医療を用いた妊孕性温存療法(卵子/精子/受精卵(胚)/卵巣組織の凍結等)が実施可能となってきましたが、保険適応外のためすべて自費診療となっています。また、がん治療後に不妊治療を受ける場合も、自費診療となっています。

本調査では、AYA 世代がん患者さんのがん・生殖医療の受療状況や、がん・生殖医療による経済的負担感の実態を調査することを目的としています。

【本研究の実施団体】

本調査は、令和 2 年度厚生労働省がん対策推進総合研究事業「小児・AYA 世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して」(研究代表者: 聖マリアンナ医科大学 産婦人科 鈴木直)の一環として行われています。

【ご協力いただきたい方】

がん種を問わず、がん診断時に生殖能力を有した**現在満 20 歳～満 60 歳の男女**
(ただし、女性の場合はがん診断時に閉経前であった方が対象です)

※妊孕性温存(卵子/精子/受精卵(胚)/卵巣組織 凍結)を実施しているかどうかは関係なく募集中です

【調査にかかる時間】

15 分程度でご回答いただけます。

【アンケート回答フォーム】

<https://questant.jp/q/0YVNVQ64Z>

こちらの QR コード
を読み取りアクセス
してください。



回答期限: 2021 年 8 月 31 日(火)

【問い合わせ】本研究に関する問い合わせは以下にご連絡ください。

聖路加国際病院 腫瘍内科 北野 敦子 (電話) 03-3541-5151 東京都中央区明石町 9-1

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 鈴木 直(電話) 044-977-8111 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1